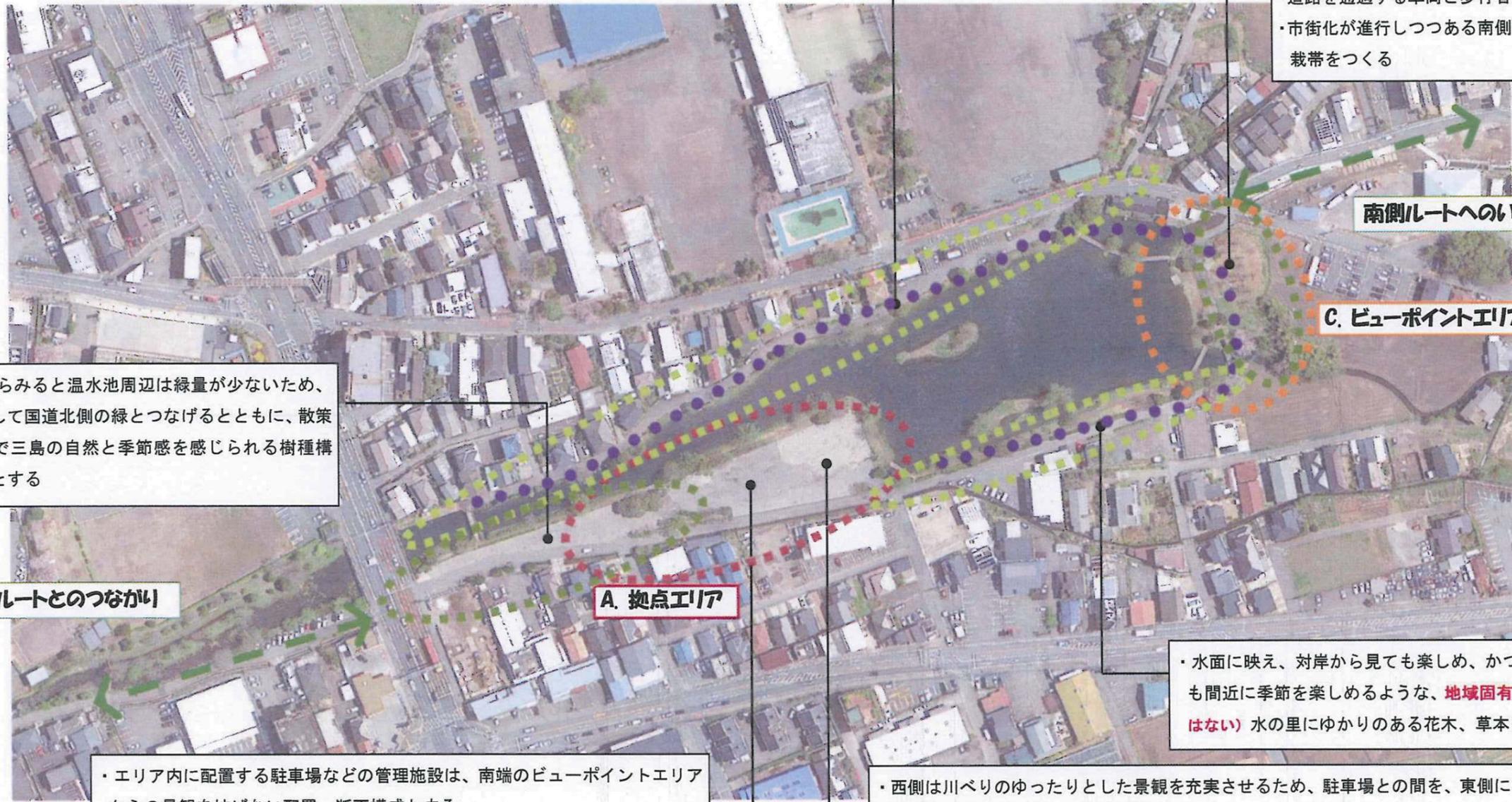


## 2. 計画の方針

### 2) ゾーン別の整備方針

#### 中郷「水の里」づくり

- ・野鳥や水生生物の生育環境はできるだけ現状のまま残す。
- ・旧飲食店跡地の未利用地は、中郷温水池より松毛川方面につながる**緑**の回遊コースの拠点として位置付ける。
- ・高齢者や身体的弱者も**十分に自然散策ができる様に配慮する。**
- ・中郷温水池をより魅力的に利用してもらうために、骨格となる**自然**を補強するとともに、水辺環境になじみがあり、かつ三島周辺で**稀少、貴重な植物**を積極的に**保全、復元し、ふる里の自然生態園**を目指すことにより、「行ってみたいくなる**豊かな自然**」を創造する。



・市域全体から見ると温水池周辺は緑量が少ないため、緑量を確保して国道北側の緑とつなげるとともに、散策ルートの中で三島の自然と季節感を感じられる樹種構成の緑地帯とする

北側ルートとのつながり

A. 拠点エリア

C. ビューポイントエリア

南側ルートへのいざない

・エリア内に配置する駐車場などの管理施設は、南端のビューポイントエリアからの景観を妨げない配置、断面構成とする  
 ・未利用地の魅力向上のため西側の水路を再整備し、四方が水に囲まれた「水の里」の拠点をつくる

・西側は川べりのゆったりとした景観を充実させるため、駐車場との間を、東側に緩やかに傾斜したアンジュレーションの美しいバンクをつくる  
 ・斜面には低管理で維持できるスイセンやクサボケの咲く牧歌的な景観を創出する

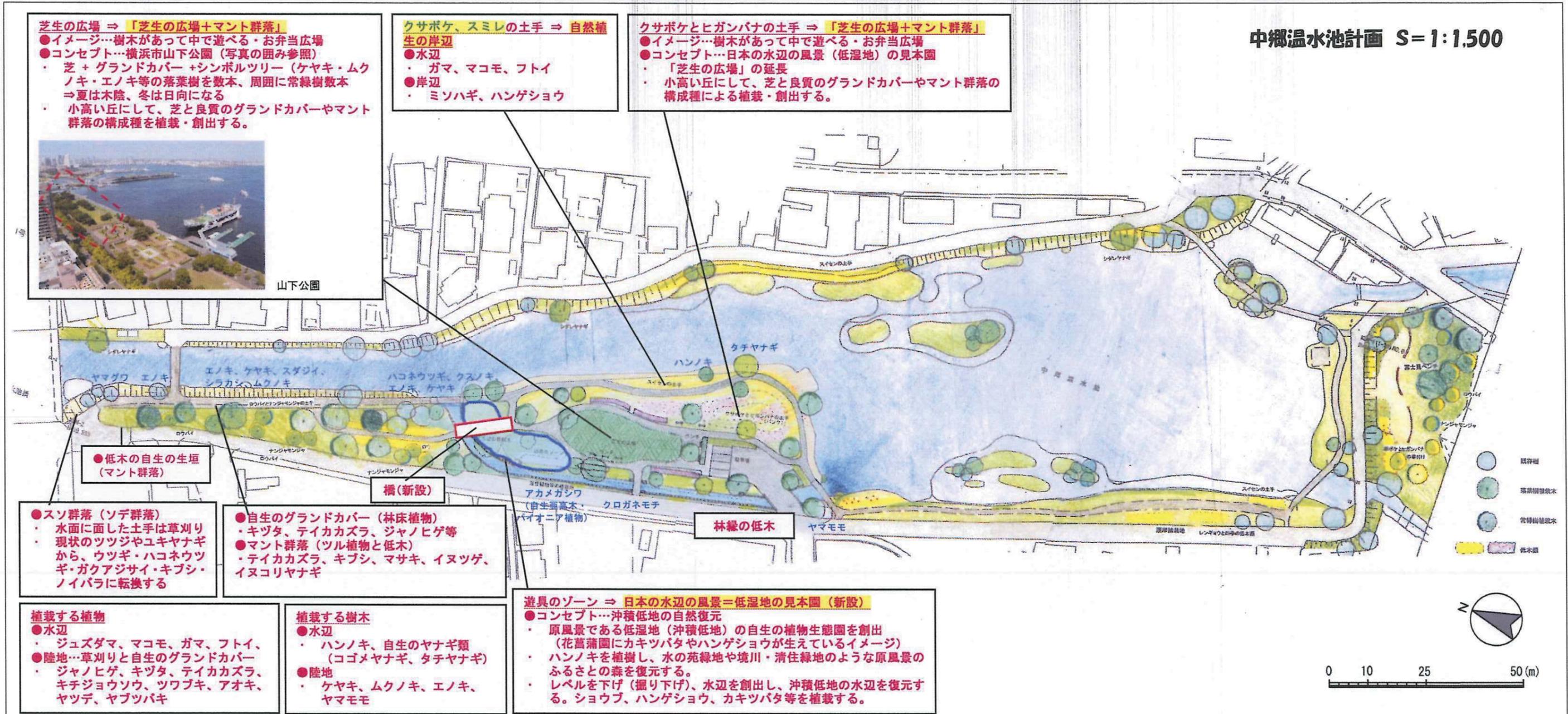
・東側は区画街路を歩くことになるため、安全に散策が楽しめるハンプ舗装の整備を検討する  
 ・護岸の植栽可能なスペースは狭いが、ボリューム豊かな対岸とのつながりを持たせるため、要所に水にゆかりのある景観木を植栽する

・世界遺産である富士山を水面に映す最良のビューポイント  
 ・散策する利用者と適度な距離を保ちながら、ゆったりとくつろげる場所をつくる  
 ・道路を通過する車両と歩行者が互いに安全な動線確保する  
 ・市街化が進行しつつある南側の景観との緩衝帯となる外周植栽帯をつくる

・水面に映え、対岸から見ても楽しめ、かつ散策する人も間近に季節を楽しめるような、**地域固有の(園芸種ではない)**水の里にゆかりのある花木、草本を植栽する

### 3. 基本構想

#### 1) 計画平面図



- ・ 中郷温水池を、楽寿園・三嶋大社・源兵衛川を連続させた緑の回廊・中継点と位置付ける。
- ・ 生物多様性条約及び生物多様性基本法に基づく、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する国の基本的な計画である「生物多様性国家戦略」に基づき、ふるさと・日本 (三島) の固有の風景を伝える場としたい。「園芸種による花の公園」はつくらない。